

糸電話

教育相談課だより
平成31年3月4日
第14号



研究が着実に進んでいます！～第3回研究協議会より～

2月14日（木）に、教育相談に関する研究「児童生徒の自己指導能力を育む生徒指導」の第3回研究協議会が行われました。研究協議会の内容につきましては、「糸電話」の第5号でも既にお伝えしているところです。今年度最後となった今回の研究協議会では、各研究協力校の先生方がこれまでの研究実践を振り返り、今後の研究をどのように進めるかを確認しました。

午前は、5つの研究協力校の先生方が、教育活動のあらゆる場でガイダンスとカウンセリングの機能を生かしながら、自己指導能力の育成を目指した実践について発表しました。それらの「実践」は、各校で立案された「実施計画」に従い、実践の「点検」及び「修正」を図る「PDCAサイクル」で進められています。自校の実践内容を発表し、他校の実践内容を聞くことで、各校の先生方は、これまで進めてきた自校の実践の「よさ」に気付き、今後の研究に生かす示唆を得ることができました。



鯉淵教諭による太田第二高等学校の実践発表



報告書作成に向けた打合せ

午後は、協力校の先生方と担当の指導主事が、報告書の作成に向けた打合せを行いました。報告書に掲載する実践内容や掲載する順序、児童生徒の変容を見取るグラフの作成の仕方等、各校の先生方が現段階での確認をし、報告書作成への見通しをもちました。参加した先生方は、指導主事との打合せを行ったことで、今後の研究をどのように進めるか、改めて捉えることができました。

今年度から2年間をかけて実施する教育相談に関する研究は、着実に進んでいます。12月に予定されている研究発表会では、児童生徒の自己指導能力の育成を目指した、理論に基づく具体的な研究の実践について報告します。多くの先生方の参加をお待ちしています。